

トリフォニーホール・ピアニスト・シリーズ2013-14

エリソ・ヴィルサラゼ

ピアノ・リサイタル

“最高のシューマン弾き”

女流ピアニストの最高峰

11年ぶり、待望のソロ・リサイタル

シューマン:交響的練習曲 作品13

Robert Schumann: XII Études Symphoniques op. 13

ブラームス:ピアノ・ソナタ第1番 ハ長調 作品1

Johannes Brahms: Sonate Nr. 1 C-Dur op. 1

モーツァルト:ドゥゼードの「ジュリ」の「リゾンは眠った」による9つの変奏曲 ハ長調 K.264(315d)

Wolfgang Amadeus Mozart: 9 Variationen über die Ariette "Lison dort" C-Dur, K.264(315d)

ハイドン:アンダンテと変奏曲 ヘ短調 Hob XVII:6

Joseph Haydn: Andante con variazioni f-moll Hob XVII:6

2014.2.3 日

19:00開演
(18:30開場)

[料金/全席指定]

1回券:SY¥6,000 A¥5,000

3公演セット券:SY¥27,200 (10/15ペライア&12/4ツイメルマン)

※トリフォニークラブ会員は1回券Sのみ20%引き、セット券SY¥23,800、同時入会申込可。

★好評販売中!

[ご予約・お問合せ] トリフォニーホールチケットセンター 03-5608-1212

トリフォニーホールチケットオンライン www.triphony.com

すみだトリフォニーホール

Eliso Virsaladze, Piano Recital

トリフォニーホール・ピアニスト・シリーズ 2013-14 エリソ・ヴィルサラゼ ピアノ・リサイタル

ヴィルサラゼ、 ロシア・ピアノの 過去と未来をみつめる

エリソ・ヴィルサラゼは、トビリシの音楽院で祖母アナスタシア・ヴィルサラゼに学び、その友人だったゲンリフ・ネイガウスにも教えを受けた。モスクワ音楽院では、ヤコフ・ザークに師事し、レフ・オポーリンのアシスタントも務めて、大学院時代から教育への情熱と愛着を抱くようになる。スヴャトスラフ・リヒテルとの交流も深かった。「祖母はアンナ・エシポヴァの弟子で、レシェティツキを辿って、チェルニー、リスト、ベートーヴェンへと繋がっていく。ネイガウスはゴドフスキに師事しました。リヒテルやギレリスが生きていた時代、モスクワ音楽院には素晴らしい人材がいました。ロシア楽派というのは、ソ連時代の幼児教育が非常にしっかりしていたことから育まれたのです。革命前から良質の教育はありましたが、とてもよく集中した教育システムが確立したのがソ連時代で、非常に価値のある遺産だと思います。現代では少しずつ薄まっていますが、それでも私の教えるモスクワ音楽院をはじめ有望な若手はいますよ」。ボリス・ベレゾフスキーやアレクセイ・ヴォロディンがよく知られた彼女の弟子だが、それぞれに異なる個性を育てている。

演奏や練習のための時間が足りなく葛藤するときもあるが、若い世代に愛情を注ぐ姿勢はずっと変わらない。音楽に対するアプローチは、演奏家としても教師としても「絶対的に同じだ」とヴィルサラゼは言う。「音楽家にとってまず大切なのは、音楽を愛する気持ちです。音楽のなかの自分を愛するのではなく、音楽そのものを愛すること。また、作品はいつも上位にあり、どんな演奏よりも素晴らしいと知ること。どれだけ近づき、どれだけそれを深く掘り下げられるか」。

プログラムを組むのはいつも大いに悩まされるし、「象を産むくらいしんどい」と彼女は微笑む。今回のリサイタルは古典派とロマン派を交互に弾く美しい構成で、ヴァリエーションがひとつのテーマとみられる。「モーツァルトのこの変奏曲はほとんど演奏される機会に恵まれませんが、ハイドンの曲もそうです」。以前にライブ録音もしているブラームスのハ長調ソナタの第2楽章も主題と変奏だ。「そう。彼はまだ若々しく、それがよく出ている。だけど、その先にどんなものを書くのかを全部みせてくれている。シューマンは早く亡くなったけれど、交響的練習曲も比較的若い頃の作品と言えますね」。「最高のシューマン弾き」とかつてリヒテルに言わしめた、ヴィルサラゼの熟慮と情熱が籠められた演奏会になるだろう。

2013年6月 仙台にて
取材・文 青澤隆明

(おおさわ たかあきら/音楽評論家)



©Werner Neumeister

エリソ・ヴィルサラゼ
[ピアノ]

Eliso Virsaladze
Pianist

グルジアの首都、ティフリス(現トビリシ)生まれ。20歳の時チャイコフスキー国際コンクール第3位。24歳の時シューマン国際コンクールで第1位。モスクワでは、ゲンリフ・ネイガウス、ヤコフ・ザークに師事。コンドラシン、ムーティ、K.ザンデルリング、サヴァリッシュ、スヴェトラノフ、テミルカーノフ等著名な指揮者と共演。現在、モスクワ音楽院、ミュンヘン音楽院教授。チャイコフスキー国際コンクール等著名な国際コンクールの審査員も務める。特にベートーヴェン、ショパン、シューマン等に造詣が深い。

料金
[全席指定]

1回券: ¥6,000 A ¥5,000

3公演セット券: ¥27,200 (10/15ペライア&12/4ツィメルマン)

*トリフォニークラブ会員は1回券Sのみ20%引き、セット券 ¥23,800、同時入会申込可。

■ご予約・お問合せ:

★好評販売中!

トリフォニーホールチケットセンター 03-5608-1212

トリフォニーホールチケットオンライン www.triphony.com

電子チケットぴあ [Pコード:203-386] 0570-02-9999 t.pia.jp

e+(イープラス) eplus.jp

ローソンチケット [Lコード:31601] 0570-000-407

東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650

主催・企画: すみだトリフォニーホール / 招聘制作: ジャパン・アーツ

※都合により公演内容の一部が変更となる場合がございます。
※未就学児のご入場はご遠慮下さい。



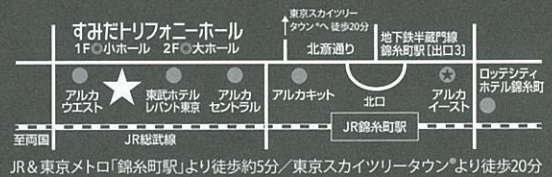
平成25年度文化庁
劇場・音楽堂等活性化事業

twitter
@TriphonyHall #STHEV

トリフォニーホール託児サービスのご案内

ご予約・お問合せ: 0120-500-315 [平日10:00~17:00]

(株)小学館集英社プロダクション 総合保育サービスのHAS(ハス)



すみだトリフォニーホール

長年の友人であるエリソ・ヴィルサラゼは、芸術に限らず広い教養と見識をもっており、そのすべてが彼女の演奏に反映されるという稀有な音楽家です。

ユーリ・テミルカーノフ [サンクトペテルブルク・フィルハーモニー / 交響楽団 / 芸術監督・首席指揮者]

ヴィルサラゼの
《チャイコフスキー:ピアノ協奏曲第1番》

2014.1.28(火) 19:00 サントリーホール

共演: テミルカーノフ 指揮

サンクトペテルブルク・フィルハーモニー交響楽団

料金: ¥18,000~¥8,000(D ¥5,000 売切)

主催: ジャパン・アーツ

ご予約・お問合せ: ジャパン・アーツ 03-5774-3040

音楽配信サービス

ナクソス・ミュージック・ライブラリー

エリソ・ヴィルサラゼ収録音源一覧:

http://ml.naxos.jp/artist/?278

ブラームス: ピアノ・ソナタ第1番

モーツァルト: ドゥゼードの「ジュリ」の「リソンは眠った」による9つの変奏曲ほか、シューマンやショパンなどの作品をお聴きいただけます。

NAXOS
MUSIC LIBRARY